

## 17 JSL生徒の体験意見作文を読む

教科書に載っている教材は、日常会話はできるが、学習語彙の習得が不十分な生徒たちにとって、その内容理解が難しいものが多い。この中国帰国生徒の作文は、JSLの生徒たちにとって自分の体験と重ね合わせながら読むことができるので、その分、スムーズに内容が理解できると推測される。また、日本人生徒にとっても外国からの友達の気持ちを理解する上で有意義である。意見文を読む1段階としてこの教材を位置づけたい。さらに、意見文を読み、自分の考えを持ち、それを発表していく力を養いたい。

- 1 領域 書くこと、読むこと
- 2 教材 中国帰国生徒作文「日本は私をこのように感動させた」
- 3 目標 ・内容を読み取り、筆者の気持ちや言いたいことを理解する。
- 4 指導時間 5時間（うち1時間は取り出しで先行して学習する）
- 5 指導形態 取り出しと在籍学級（TT入り込み）
- 6 指導事項 ・言語スキル

領域	指導事項	言語スキル
書くこと	<b>【事柄や意見】</b> ・自分の立場に立ち、伝えたい事実や事柄、自分の考えや気持ちを明確にする。	・自分の立場を明確にして、教材文の内容に即して書くことができる。 ・自分の考えを書くことができる。 ・段落を意識して書くことができる。
読むこと	<b>【内容把握や要約】</b> ・文章の展開に即して内容をとらえる。 <b>【主題や要旨と意見】</b> ・内容を理解し、自分の意見を持つ。	・段落ごとの内容を理解し、簡単にまとめることができる。 ・内容を理解し、自分の意見を持つことができる。
言語事項	<b>【話や文章、文】</b> ・段落の役割や文と文との接続関係を理解する。	・意見文において、接続関係に注意して文章構成を捉え、要旨を考えることができる。

## 7 指導計画

	学習活動	伸ばしたい言語スキル	学習支援・指導と学習材
1 次  1 時 間	<p>[取り出し]</p> <p>○本文を読む。</p> <p>○分かりにくい語句の意味を国語辞典や日中辞典（日英辞典等）を使って調べる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>音読しながら、読めない漢字にルビが振れる。</li> <li>自分で辞書を使って、意味を理解することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一緒に読みながら、読めない漢字にルビ（ふりがな）を振っていく支援を行う。</li> <li>辞書を引きながら<b>語句ノート*</b>に記入していく支援を行う。</li> </ul>
2 次  2 時 間	<p>[在籍学級]</p> <p>○本文を読む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>内容を読み取る。</li> <li>形式段落に番号を付ける。</li> <li>学習プリントにまとめる。</li> <li>日本に来た理由は何ですか。</li> <li>初めての困難は何ですか。</li> <li>日本の人々はどのように接してくれましたか。 クラスメイト、先生、近所の人たち</li> <li>筆者を感動させたものは何ですか。</li> <li>将来への筆者の気持ちはどうですか。</li> </ul> <p>○深く読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「初めての困難」について、具体的にどのようなことがあるか考え、意見を発表し合う。</li> <li>表現の上手なところや、心にとまったところを抜き出す。</li> </ul> <p>○内容を読み取り、意見交流をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>内容を読み取り、学習プリントにまとめていく。</li> <li>接続する言葉に気を付けて読むことができる。 接続詞の「しかし」や「ところが」は前の事柄と反対の事柄が次にくることを表すが、「ところが」は意外性を強調する意味もある。</li> <li>自分の意見を持ち、発言できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★学習プリントにまとめていく支援を行う。</li> <li>★随時辞書を利用していく。</li> <li>段落の最初の言葉や接続後、指示語等には注意していく。</li> <li>自分の体験が引き出せるように支援していく。</li> <li>・比喩表現や、心にとまった表現を引き出す。</li> <li>★感想を話し合いながら自分が日本に来たときの様子や気持ちを引き出していく。</li> </ul>

3 次 1 時 間	○本文を読んで、自分の感想を持ち、作文する。	・自分の感想、意見を文章にまとめる。	★本文に即しながら、自分のことも書けるように、内容面での支援と、日本語としての正しさの面での支援をしていく。
4 次 1 時 間	○自分の作文を発表する。	・はっきり分かりやすく発表できる。	・みんなの前ではっきりした声で発表できるよう、事前に読む練習をしておく。

#### ◆語句ノート（例）

[日本は私をこのように感動させた（单元名）]

頁	語 句 <small>ふり がな</small>	意 味 (日本語か母語で)
	夢 <small>ゆめ</small>	
	好奇心 <small>こうきしん</small>	
	抱いて→抱く <small>かかいて→かか</small>	

## 日本は私をこのように感動させた

中学校3年生

夢と好奇心を抱いて、私は家族とともに大阪行きの飛行機に乗りました。飛行機の中で、頭の中はわき出てくる疑問でいっぱいでした。私は窓から下を見ずにはられませんでしたが。ほとんど見えはしない陸地に答を見いだすことを願っていました。何十年か前に、私の祖母は敗戦のために中国に残されました。祖母はいつも日本に帰ることを願っていました。そして、何十年後かの今日、私たち一家は、祖母の残した願いを果たすために日本へ帰ってきたのです。

私たちが日本に着くと、現代国家の姿が目の前に現れました。高層ビルがきれいに整備された道路の両側に立ち並び、車が川の流れのように休まず走っているのに、交通秩序が保たれています。国土の狭い日本が、自然資源が少ないという欠点を克服し、第2次世界大戦後、再び勢いよく立ち上がりました。これらすべては、これからの私たちの日本の生活に自信と希望を与えてくれました。

しかし、初めて日本に来た私たち家族にとって、困難がないはずがありません。私たちは日本語が話せず、一歩、歩くごとに大変な困難を感じるのです。特に私は、以前、中国にたくさんの友達がいたけれど、日本には話ができる人すらいませんでした。私はかつて味わったことのない寂しさと孤独を感じました。他の人達がとうとうと話しているのを聞くとき、とても焦りました。「どうしたらいいの?」「どうしよう?」と私は何度も自分に問いかけていました。

ついに中学校の門が私に向かって開かれました。私は心の中で決意しました。「絶対にこのチャンスを生かして頑張って勉強しよう。」と…。

学校の1日目はすごく緊張していて、先生と教室に入っていたとき、ものすごく心臓がドキドキしていました。私はなんといいか分からず、ただ小さな声でなれない自己紹介を「私は張です。」としたことを覚えています。学活が終わるとクラスメイトたちはすぐに私を取り巻いて、口々に何かを聞いてくれます。たまに私も簡単な日本語で彼女たちに答えました。私が日本語で一言話すごとに、周りからは熱烈な拍手が起きました。私が聞き取れないとすぐに誰かがペンを持ってきて、手に書いてくれました。終わってみると、みんなの手にはびっしりと漢字が書かれてありました。その頃はほとんど日本語が分からない私でしたが、クラスメイトの一人一人の笑顔の中に、この上ない温かさを感じました。日本の学校のいくつかの習慣は中国とは違っていたので少し苦労しましたが、数え切れないほどの先生たちが、一回、また一回と、忍耐

強く私に日本語を教えてくださいました。また、私の疑問に教えてくださいました。時にはおしゃべりやうち明け話をしたりして、私の気を晴らしてくださいました。学校の3階にあるごく普通の日本語教室には笑い声が絶えず、思いやりにあふれています。オーバーに言うと、空気の一つの分子にも音符が飛び跳ねていて、すばらしい音楽を奏でているようなのです。

その他の教科の授業では、先生たちはいつも私ができるかどうか、分かるかどうかに気を配り、私の側に立って教えてくださいました。先生たちが私に問題を答えさせるときの期待に充ちた眼差しは、私に限りないエネルギーを与え、正確に答えさせてくださるのです。知らず知らずのうちに、すでに日本での初めての春と夏を過ごしていました。今、私はクラスメイトと過ごす以外に、近所の人達とも親しくつきあっています。中国の諺に「遠くの親戚よりも、近くの他人」というのがあります。近所の人達との行き来の中で、私はこの言葉の意味を強く実感しました。

それは、ある土曜日の午後のことでした。両親は仕事に行き、私は洗濯をし、干した後、遊びに行きました。ところが、あんなに晴れていた空は、厚い雲に覆われ、ザーザーと雨が降ってきたのです。天気がこんなに急に変わると誰が思うでしょう。私は友達の家において大慌て。心の中でこのおかしな天気を恨みました。雨がやむとすぐに、私は家に帰りました。もう一度、洗濯するつもりでいたのですが、玄関まで来たとき、私はびっくりしてしまいました。干してあった服を誰かがきれいにたたんで洗濯機の上に置いてくれていたのです。全然雨に濡れていなかったのです。私がいぶかしがっていると、向かいの家のおばさんが歩み寄ってきて、笑いながら私に「雨に濡れるといけないから取り込んでたたんでおいたよ。」と告げてくれました。その瞬間、私の心はふるえました。おばさんを見つめて、感謝のあまり何を言ったらいいか分からず、深々とお辞儀をしたただけでした。とてもうれしかったです。

長い間、私はずっと日本の生活についての感想を書きたいと思っていましたが、思いをきちんと文章に表すことができるかどうか不安でした。他の人から見たら些細なことにすぎないことが、私にとっては、とても感動的な事柄に思えるのです。平静な日々が豊かになり、温かく感じるのです。

私を感動させたことは、まだまだたくさんありますが、私はそれらをそっと心の中にしまって、これからの日本での生活、勉強に頑張っていこうと思っています。

[ワークシート]

学習プリント 「日本は私をこのように感動させた」

年 組 番 氏名

大段落	形式段落	見出し	内容のまとめ
	1		
	2		
	3		( ) [接続詞]前のことがらと反対のことがらが次にくることを表す。
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		

学習プリント 「日本は私をこのように感動させた」

年 組 番 氏名

大段落	形式段落	見出し	内容のまとめ
書き出し	1	日本に来た理由	私の祖母は敗戦のために中国に残された。日本に帰りたいという願いを果たすため
本文	2	日本に来た時の日本の様子 と筆者の気持ち	高層ビル、整備された道路、車の流れ ↓ これからの日本の生活に自信と希望
	3	最初の困難	( しかし ) [接続詞]前のことがらと反対のことがらが次にくることを表す。 困難 日本語が話せない ↓ 寂しさ、孤独、焦り
	4	中学校編入	中学校の門が開かれる。→頑張って勉強しよう。
	5	クラスメイト や先生たちの 温かさ	学校の1日目→ものすごく緊張した。 クラスメイトの笑顔に温かさを感じた。 生活習慣の違いに苦労 ↓ 先生が忍耐強く日本語を教えてくれたり、疑問に答えてくれた。
	6	近所の人たち	中国の諺「遠くの親戚よりも、近くの他人」
	7	洗濯物のこと	洗濯物を干してでかけた。 雨→向かいのおばさんが取り込んで、たたんでおいてくれていた。 ↓ 感謝に心がふるえた。
	結び	8	些細なこと の中の感動
9		これからの日本での生活	感動を心にしまい、勉強に頑張っていこう。

